

在士八幡神社境内に、みごとに咲き匂う樹齢400年以上の、「藤堂高虎公ゆかりのむらさき藤」。
心地よい春風に誘われて、のんびり初夏を感じる一日をお過ごしください。

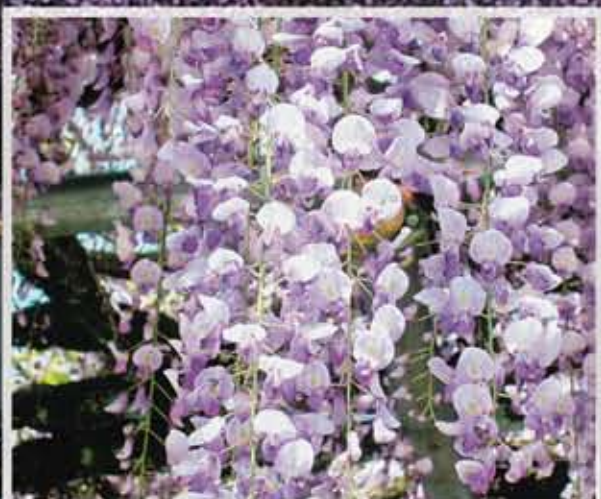
'08 藤まつり in 在士

在士八幡神社境内一帯にて

5月 3日 (祝)

4日 (祝)

5日 (祝)



写真の藤棚 町指定文化財 町のはな一藤棚のいわれ

藤堂三河守影盛が石清水八幡を勧請したのと同時に、一株の藤を社内に移し植えて子孫繁栄を祈願しました。願いはかなって、高虎という傑人を生み、子孫は未永く栄えました。在士の宮の氏子もその恩恵に浴して村は潤い盛んとなりました。五月上旬になると、村の若衆により「花切り」の行事が行われます。これは、毎年一二連の藤の花房を桐箱に納めて、藤堂家に贈る習慣として続いています。

藤棚ライトアップ

4月29日(火)～5月10日(土)



ライトアップによって照らし出される幻想的な藤も見事です。一度夜の藤もご鑑賞下さい。

「休憩処」でのごゆっくり

5月3日(祝)・4日(祝)・5日(祝)



八幡神社境内では3日間、お茶席をご用意のほか、飲物等販売しております。



「テント村」出店

5月5日(祝) 11:20～19:00

八幡神社本殿



江戸時代 町指定文化財

当神社の創立は明らかではないが、藤堂高虎の八代前の先祖、藤堂三河守影盛が幕府、応永年間(1394～1412)に京都石清水八幡宮からご神体を迎えたのが始まりと伝えています。

本殿は流造の檜皮葺の社で、鳩の彫刻幕股や美しい斗拱などの様式や技術によって、江戸時代(1603～1868)中頃より古い建築といわれています。

高虎が伊勢・伊賀国などで三二万石余りの大名になってからも氏神として敬いました。境内には藤棚や藤堂支藩奉納のいわれの書かれた手洗石があります。

5月4日(祝)「藤の花切祭 神事」が行われます。

12連の藤の花房を桐箱に納めて、今も藤堂家に贈られます。 ※但し、天候などの状況により日が変わる場合があります。

ちよつと在士散歩(高虎公園)



水のせせらぎと四季の草花 高虎公園 全景

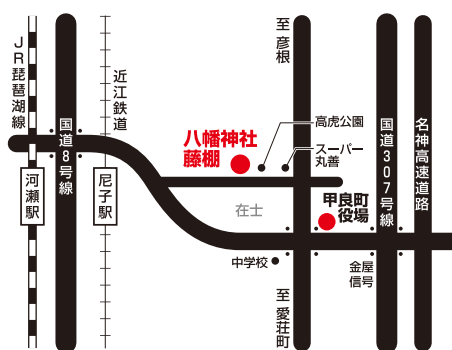


高虎の道

藤堂高虎公銅像

— 甲良町在士へのアクセス —

JR 河瀬駅下車、近江鉄道 尼子駅下車、近江鉄道バス(金屋、萱原行)で甲良町役場前バス停から徒歩5分です。 ◎ 駐車場は甲良町役場をご利用ください。



—「甲良町」と「在士」は、三重県津市 藤堂高虎公入府400年祭に協賛いたしております—

■主催/在士むらづくり委員会 ■共催/藤堂高虎公顕彰会、甲良町、在士区 ■後援/甲良町観光協会、甲良町商工会
(お問合わせ先) 甲良町役場産業振興課 TEL.0749-38-5069